FUCHU CITY 議会だより No.100

発行／府中市議会議長　令和3年5月1日発行　編集･広報広聴特別委員会
TEL(0847)43−7171･FAX(0847)45−3212　ホームページ http://www.city.fuchu.hiroshima.jp

府中市議会情報誌
第100号

①創刊号(H7.10.15発行)は、「広報ふちゅう」の中へ議会情報を掲載(A4サイズ)

議会だより
●9月定例市議会●
発刊にあたって
府中市議会議長　武田　稔
一般質問とは

創刊第100号にあたって

府中市議会議長　秦田　澄子

議会だよりの創刊号は、平成７年（1995年）10月15日に発行された「広報ふちゅう第816号」のなかに掲載されました。1995年は、戦後50周年という節目であるとともに、１月の阪神・淡路大震災、３月の地下鉄サリン事件、11月のWindows95日本語版発売など、今でも記憶に残る大きな出来事がありました。

創刊号を読み返してみますと、当時の故武田稔議長の市政に対する思いと議会改革の一環として長年の懸案だった「議会だより」創刊への意気込みを読み取ることができます。私も創刊にかかわった記憶がよみがえってきます。

私たち議員も、この思いを引き継ぎ、さらに議会改革を推し進め、市民の皆様により開かれた議会をめざしてまいります。

※この間、議会だよりは市民のみなさんにわかりやすいように、改良してきました。

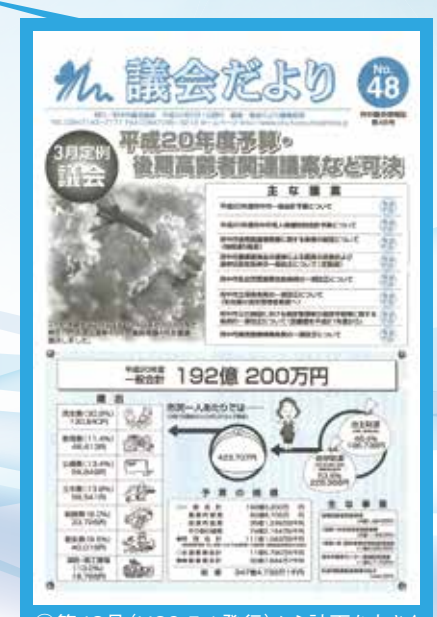
1 → 4 → 34 → 48 → 80 → 100

府中市 議会だより
第4号　平成8年4月16日
三月定例会
二四三億二千万円の平成八年度予算を可決
議員定数二名削減

②第4号(H8.4.16発行)から「議会だより」として専用誌で発行しました。

びんご FUCHU CITY
議会です

③第34号(H16.8.1発行)から、黒色+1色カラーの誌面になりました。


議会だより No.48
3月定例議会
平成20年度予算や後期高齢者関連議案など可決
192億 200万円

④第48号(H20.5.1発行)から誌面を大きくし現行サイズにして、読みやすくしました。

議会だより No.80
3月議会
平成28年度府中市一般会計予算を可決!

⑤第80号(H28.5.1発行)から誌面をフルカラーにしました。

3月議会　令和3年度府中市一般会計予算を可決!

3月定例議会は、3月1日から3月18まで18日間開き、議案38件、審議し議決しました。

主　な　議　案

- **令和３年度府中市一般会計予算について**（歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ228億円とする）　原案可決
- **府中市精神障害者医療費支給条例の制定について**（精神疾病や身体合併症の重症化予防のほか、保健の向上や福祉の増進を図る）　原案可決
- **府中市翁座の設置及び管理に関する条例の制定について**（郷土への誇りの醸成や観光の振興を図る）　原案可決
- **府中市国民健康保険税条例の一部改正について**（府中市国民健康保険税の税率を準統一保険料率に段階的に合わせる）　原案可決
- **府中市観光地設置及び管理条例の一部改正について**（矢野温泉四季の里に木製トレーラーハウスを設置し人を呼び込む魅力あるワーケーション事業の推進）　原案可決
- **令和２年度府中市一般会計補正予算(第13号)について**（歳入歳出それぞれ4億4,919万3千円を減額し、総額284億8,647万円とする）　原案可決

一般質問 Q&A

3月4日、5日　13人の議員が市政を問う！

市民クラブ
水田（みずた）　豊（ゆたか）

研修医の受け入れの現状と市の関わり

Q 病院機構への研修医の受け入れはどうなっているか。

A 初期臨床研修やその後の専門医研修ができる他の病院からの期間を限った研修医の受け入れになる。府中市民病院では今年度初めて中国中央病院から内科医を4月から9月の間勤務をしてもらった。府中北市民病院では、他の病院と並行してではあるが初期臨床研修医がほぼ毎年1～2名、広島大学病院から2カ月間来ていただいている。

市民クラブ
芝内（しばうち）　則明（のりあき）

電力全面自由化の状況

Q 2016年より、電力の全面自由化が始まっている。府中市の取り組み状況と考え方を伺う。

A 市は、電力調達について、一部の公共施設で、従来の電力会社ではなく別の会社と随意契約をしている。効果としては、従来よりは10％程度の削減効果があったと聞いている。また、コスト削減という意味から考えると、継続していくべきだと考えている。

市民クラブ
土井（どい）　基司（もとじ）

容器包装プラスチックごみの扱い

Q 一昨年6月の広報に、汚れたプラごみ（容器包装プラスチック）を可燃ごみへ変更する記事が載ったが、いまだホームページには反映されていない。ごみの分別の大きな変更なので市民に丁寧な説明が必要だ。プラごみの分別開始時は全域で説明会を開催したが、今後の周知方法を伺う。

A 説明会は開催しないが、地域の出前講座などに積極的に出向きたい。また、「市民生活総合支援アプリ」などを活用し写真を例示し周知したい。

創生会
三藤（みとう）　毅（つよし）

新型コロナウイルスワクチン接種

Q 接種後の経過観察とアナフィラキシーへの対応は、どのように考えているか。

A 接種後はその場で、少なくとも15分間、過去に重いアレルギー症状を引き起こしたことがある人は30分間、経過観察を行うこととされている。

また、アレルギーの発生に備え、救急処置に必要な物品を常備し、発症者が出た場合は速やかな治療や搬送に資するよう、消防や医療機関との適切な連携体制の確保に努めてまいりたい。

創生会
山口（やまぐち）　康治（こうじ）

公用車の市民への貸し出しに向けた進捗状況

Q 公用車の有効活用策の一案として市民への貸し出しについては、過去も要望してきた。その後の経過を問う。

A 今ある府中市の公用車のほとんどがリース物件となっており、リース契約上これらの車両の貸し出しはできないものとなっている。しかし、災害時や業務での活用を想定して所有している車両が1台あるので、公用車の貸し出しについてニーズがあればその対象になると考えいる。

創生会
広瀬（ひろせ）　和彦（かずひこ）

防犯灯経費の町内会負担

Q 防犯灯は、防犯・防災・安心・安全の観点から社会的インフラとして全世帯が受益者となっている。経費は町内会負担となっているが、市が負担するべきではないか。

A 現在の補助金を集約し、地域において毎年何を重点に使っていくかなど、自由度のある交付金を考えているが、町内会の理解が得られるか、今後対話をしていきたい。また、世帯が減っていくなかで、防災を含めた自治組織のあり方や防犯灯の経費についても総合的に考えたい。

創生会
福田（ふくだ）　勉（つとむ）

都市計画税と公共下水道区域

Q 下水道区域の縮小に伴う整備手法と制度の変更について伺う。

A 公共下水道事業と合併処理浄化槽の整備により生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図っている。本市の下水道事業の整備率は低い。汚水処理施設整備構想では、経済性、事業適合性の評価を行い、下水道で整備する区域と小型合併処理浄化槽で整備する区域を効果的に組み合わせ事業を加速させることにより、早期に市全体での汚水処理施設完成を目指す。

創生会
安友（やすとも）　正章（まさあき）

持続可能な農業への支援

Q 一般会計における農林水産事業費の予算配分をさらにふやすことが必要ではないか。

A 農業の持つ可能性を最大限に引き出し、経済循環を図り、持続可能な農業とするべく「府中市農業振興ビジョン」を策定し、必要な予算措置を行う考えでいる。また、市では、国から直接、農業者に交付される経営安定対策等の交付金を活用しての農業振興を推進しているところである。

創生会
丸山 茂美（まるやま しげみ）

まちづくり振興公社の役割と展望

Q 羽高湖、四季の里、河佐峡は人口減少が進行する市の周辺部にある。これらの施設でのにぎわいの創出と今後の展望を伺う。

A キャンプ場の整備や運営のあり方、まちづくり振興公社の役割、あり方を検討していく中で周辺部のにぎわいづくり、さらには農業ビジネスも含めて、稼ぐ観光に向け、地域の皆さんと一緒になってしっかり取り組んでいく。

日本共産党
楢﨑 征途（ならざき まさみち）

避難援助時の事故への対応や補償

Q 避難勧告が出たとき、要介護者の避難援助をしていて事故があった場合、市としてはどのようにこれを補償するのか。

A 支援の際に、万が一災害や事故に巻き込まれた場合については、災害対策基本法84条に損害補償の項目があり、これを適用して損害補償を実施していく。その額は消防団員に準ずるものとなっている。避難時に何かあった場合は、市としてこれを適用し補償する。

日本共産党
岡田 隆行（おかだ たかゆき）

出口川カドミウム汚染防止対策に向けた財源確保

Q 1986年の事故発生以来、投じた経費は総額いくらか。今後どのような安全対策を講じていくのか。また、国にも予算面での要望はできないのか。

A この34年間で約25億5000万円かけている。広島県から約二分の一の補助を受けている。湧水処理施設における機器は更新時期を迎えており、令和3年度には7260万円を計上し制御盤などの更新を行う予定である。国の支援は難しい。今後とも県と連携して費用や安全対策に取り組んでいく。

公明党
加島 広宣（かしま ひろのぶ）

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

Q デジタル技術を活用して行政手続きの簡素化や簡略化により市民サービスの向上や市内企業へDXの推進、農業分野への取り組みなどさまざまな課題解決に積極的に取り組むべきと考えるが、本市としてどのように考えているのか。

A 新たにDX推進本部をつくり、行政のデジタル化や地域社会のデジタル化など、変化への対応をおこなってまいりたい。

公明党
大本千香子（おおもと ちかこ）

介護事故の再発防止

Q 医療や介護でも事故は起きている。市は介護保険者として、事故の再発防止にどう取り組んでいるのか。

A 施設には事故の報告義務があり、市は市内すべての介護事業所へ事故報告について周知している。確実にすべての事故が報告され、小さな事故を踏まえた改善を重ねることで、重大事故を未然に防げるよう、丁寧な指導を継続し、安心して介護サービスを受けられるよう努めたい。

予算総括Q&A

創生会　加藤　吉秀

Q 今年度予算総額228億円。市長施政方針を具現化するために36の主要事業であるが、決意を伺う。

A 着実に履行し、これまで取り組んできた施策の種まき・芽出し・実行の成果と効果を市民に実感・共感をしていただく年度となる。住民満足度の向上を目指し、将来の好循環につなげたい。

創生会　本谷　宏行

Q 毎年、委員会や会派から「提言」を行っているが、予算編成の中でどのように議論されたのか、また、反映されているのかを伺う

A まず各担当部署において内容の検討を行い、緊急性の高いものについては、年度途中であっても実施を検討していく。施策の方向性など協議が必要な内容については、次年度予算に係る政策協議において、提言を参考に協議を行い、実施すべきと判断したものについては、予算査定等を行う中で事業として決定している。

創生会　田邉　稔

Q 法人市民税の減少傾向に危機感を抱いている。府中市は力強い産業を生み出すために、DX(デジタルトランスフォーメーション)をどのように活かそうとするのか。

A 産業分野においてデジタル化の潮流に乗り遅れることは、本市の産業競争力が失われ雇用機会の喪失にもつながると危惧している。ドローン産業やEVについても認識している。令和3年度には市長直属のDX推進本部を設置し戦略的に進めていく。

市民クラブ　土井　基司

Q 3年連続で合併後2番目の規模の予算だが適正規模について伺う。また、コロナ禍で病院経営は官民とも悪化する中、病床廃止の取り組みには国から財政支援があるが、地域医療支援に予算を回すべきだ。市の考えを伺う。

A 経常経費は概ね170億円。投資的経費が予算規模に影響している。コロナ禍による減収対策、医療充実、医療従事者確保などに重点的に支援が行われるよう国に求めていきたい。

市民クラブ　水田　豊

Q 府中市グランドデザインには「JR府中駅が、まちの顔としてふさわしい駅舎として生まれ変わり、公共公益施設、商業施設等の集積・複合化が進んでいる。また、子育て世代をはじめ、来街者やまちなかに近い住宅地に居住する人々にとっても快適な次世代モビリティを含めた交通環境が充実することで移動が便利になり、産業活動も活発になっている」とある。このイメージの実現はいつか。

A グランドデザインは30年後をイメージして描いている。

日本共産党　岡田　隆行

Q 令和元年度には27億2700万円あった財政調整基金（府中市の貯金）が、令和3年度に約17億円になる。また4年後の令和7年度には一桁の7億5000万円に減ってしまう。財政基盤が脆弱ではないか。

A 子供の成長を見守るにはお金がかかる。まちづくりにも同じことが言えるのではないか。いかに財政がきびしくても、府中市の価値をたかめていくためには必要。「未来へつながる投資」と考えている。

公明党　大本千香子

Q **コロナ対策事業は53事業に上る。新年度予算は、これまでのコロナ対策への事業成果を検証しての予算編成なのか。**

A 令和2年度はコロナ対策を進め補正予算も13回、専決で迅速に対応してきた。ニーズに合っていたか、成果があがっているかも検証し、新年度のコロナ対策を進めていきたい。今後のコロナ発症状況も踏まえ、消費喚起、公共交通関連の支援、飲食店支援等も切れ目なく検討していきたい。

委員会での審議

総務文教委員会

・府中市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について（原案可決）

Q **府中市として、専門的知識を有する人材確保が必要となる具体的な理由や目的と、どのぐらいの人数確保を想定しているのかを伺う。**

A 府中市では、高度化、多様化する行政課題や緊急の課題に速やかに対応していくため、多様な人材を確保できるよう任期付き職員制度を充実させなければならない。例えば、今後さまざまな分野でのDXを戦略的に取り組んでいくためには推進体制を強化する必要がある。特定任期付職員としては、今のところ1人の採用を想定している。

予算特別委員会　総務文教分科会

・令和3年度府中市一般会計予算について「新たなヒトの呼び込み（移住定住促進事業）」

Q **現在のコロナ禍による地方回帰の動きをチャンスだと捉えているが、現在問い合わせはあるのか、移住定住の目標は何人か。**

A 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、地方への回帰の動きが見られる。総合戦略の中で掲げた5年間で移住者数50人を獲得するという目標はいまだ達成できていないため、達成に向けて取り組む。今年度の秋以降は10件以上の問い合わせをいただき、今年度、既に市内の空き家の購入に至った件数が2件、地域おこし協力隊で移住された方も2名おられる。この兆しを捉えて、来年度以降も人の呼び込みに注力していきたい。

厚生委員会

・府中市介護保険条例の一部改正について（原案可決）

Q **介護保険料を値上げするとのことだが、詳しく説明を求める。**

A 75歳以上の高齢者の増加に伴うサービス利用の増加、認知症やひとり暮らしの高齢者の増加に伴うサービス利用の増加、介護報酬がプラス改定となることによる増加等が見込まれ、介護保険給付費が上がるという算定の中で、介護給付費準備基金を全額投入し、保険料の上昇を抑制しているが、それでも不足しており、基準月額で457円の増額をお願いしている。

予算特別委員会　厚生分科会

・令和3年度府中市一般会計予算について「三玉プロジェクト（上下地域包括ケア拠点施設整備事業）」

Q **厚生委員会の事務事業評価として『抜本的な見直しのうえ継続』として提言を行ったが全く考慮されていない。委員会としての提言をどのように受け止められたのか。4億3500万円の予算だが、解体し、更地にして駐車場とトイレにする案は非常に有力だと思うが考えはどうか。**

A 旧三玉医院の寄附については、上下地域の保健福祉、介護、子育ての拠点として整備をするということで寄附をいただき整備を行っているもの。委員会の思いは重く受け止めているが、市にとって必要な施設であるということで整備を進めている。

建設委員会

・府中市翁座の設置及び管理に関する条例の制定について（原案可決）

Q **翁座の保存・活用とはどのような状態を指すのか。**

A 翁座は、中国地方に現存する最古の木造芝居小屋であることから、歴史的・文化的に高い価値を保存し、後世に引き継ぐための復元改修を行った後、観光資源として観光客に公開することを想定している。その他の具体的な活用については、今後、活用検討委員会で方向性を出していく。改修は復元を基本とし、現在の規模感の範囲内を基本に検討したい。

予算特別委員会　建設分科会

・令和3年度府中市一般会計予算について「グランドデザイン実現に向けたステップ」

Q **府中駅南側のにぎわいと交流エリアの中で、駅構内の測量調査があるが、府中駅を含めた構想と考えて良いか。**

A 府中駅構内の測量調査は、今後JR府中駅の南北をつなぐ連絡通路を含め、駅周辺を整備していく上での基礎資料となるものとなり、最初の一歩と考えている。

討論

議案第24号「府中市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について」

反対討論　日本共産党　岡田　隆行

職員の採用における給料の決定は市民の血税が使われる以上、客観的な判断基準が必要である。そうでなければ市民の納得は得られない。この条例では、この判断基準があいまいなため、どうしても「任命権者」の主観、恣意的な要素が入ってしまう。二重にも三重にも問題をはらんでいると言える。よって反対する。

賛成討論　創生会　三藤　毅

今回の議案は、さらに高度化、多様化する行政課題や緊急の課題に速やかに対応していくため、高度な専門的知識経験等を有する者等の採用を行うことができるようにするためのものである。そのような人材確保の必要性は格段に高まっており、賛成する。

反対討論　市民クラブ　土井　基司

高度に専門的な知見を持った人材の活用制度としては、2年前導入した政策アドバイザーがある。その成否も明らかでない中で新制度を導入するのは、拙速と考える。また、部長級職員として正式採用されると、各部長と同格になり推進力が弱まることが危惧される。よって本案には反対する。

賛成討論　公明党　加島　広宣

人事案件は市長の選任であり、それに対して、同意の権限が議会にあるので、公平性かつ合理性が担保されていると考え、本議案に賛成する。

議案第27号「府中市介護保険条例の一部改正について」

反対討論　市民クラブ　水田　豊

今後3年間の介護保険事業計画（第8期）を定める条例である。一番関心のある保険料の月額が示されず、5484円になると聞いたのは議会開会後であった。市民に対しても議員に対しても説明不足。市民に対して広く周知をし決定するという府中市になることを要望し当議案に反対する。

賛成討論　創生会　森川　稔

府中市では、現在、既に65歳以上の方が1万4300人おられ、その内、約3000人がサービス利用者である。これからの3年間の保険給付額予想が、今期より約1億3439万円増となる。保険料の改定や基金の活用で補っていく。安定的にこの事業が運

営されていくためにも賛成する。

反対討論
日本共産党　楢﨑　征途
コロナ禍での自粛生活、営業時間の短縮による収入減や廃業する店舗などで失業者がふえ、生活は苦しくなる一方だ。コロナの終息はまだ見えていない。コロナ禍の影響が厳しい時に、介護保険料値上げでなく、終息し安定するまでいろいろ手を尽くしてせめて据え置くよう考えてほしい。

賛成討論
公明党　大本千香子
9年間の経営努力で保険料を据え置いてきた。75歳以上の世代の増加、介護報酬のプラス改定、人口減少による被保険者数の減少など第8期の介護保険料は値上げはやむを得ない状況である。市民への十分な周知を行い全体で健康寿命延伸に取り組まれるべきことを付し賛成する。

議案第31号
「府中市水道条例の一部改正について」

反対討論
日本共産党　岡田　隆行
条例中の水道を休止できる要件を「水道をやめるとき」から「水道を中止し、または廃止するとき」と改めたことは評価できる。しかし、一旦止めた水道の再開栓に「1000円」の手数料を徴収するとしている。県内23市町の中でも2市しか例がなく、市民に負担を強いることには強く反対する。

賛成討論
公明党　加島　広宣
水道の開閉には、行政コストがかかることは明らかである。その一部を受益者に負担をお願いすることは必然と考え、賛成とする。

議案第4号
「令和3年度府中市一般会計予算」に対する予算組み替え動議

反対討論
市民クラブ　水田　豊
出産応援金の復活には賛成する。また新型コロナウイルス対策は特に経営に影響が出ている病院機構に補助をすべきと考え賛成したい。駅周辺のにぎわいづくり事業では、JR府中駅の南北通路と一体になったにぎわいづくりが必要。単に天満屋の2階整備だけでは不十分であり市民の理解も得難いと考え、当議案には反対する。

賛成討論
日本共産党　岡田　隆行
コロナ禍のもとで、市民生活の悪化に拍車がかかっている。今、予算の軸足を置くべきは、市民の福祉、教育、生活の維持と考える。地味でも、多くの市民が安心して暮らせ、近隣市町と比べても住みよさが実感でき、将来の不安も軽減できる、そうした税金の使い方こそ求められている。

反対討論
創生会　丸山　茂美
重点施策で活気・にぎわいを生むまちを目指しており、譲渡を受けている天満屋2階はにぎわいを生むために有効に活用しなければならない。また、新年度予算は総合計画2030プランを実現する予算であり、予算の組み替えを行えば、府中市の発展、将来はないと思い本動議に反対する。

反対討論
公明党　大本千香子
①提案の内容は予算の分科会では、今回一度も議論の俎上に上がらず唐突な提案である。②市民も議会も参加しての議論を十分重ねてきた結論としての予算である。③天満屋2階i-core（イコーレ）は、次世代も含めた府中市の未来への希望となりうる施設であること。以上の理由で反対する。

議案第4号
「令和3年度府中市一般会計予算について」

反対討論
日本共産党　岡田　隆行
一般会計予算の組み替え動議への賛成討論でも述べたが、コロナ禍の今、予算の軸足を置くべきは、市民の福祉、生活の維持と考える。地味でも、多くの市民が安心して暮らせ、近隣市町と比べても住みよさが実感でき、将来への不安も軽減できる。そうした税金の使い方こそ求められると考え反対する。

賛成討論
公明党　大本千香子
①コロナ対策予算として必要な支援メニューを用意し、今後の発症状況による柔軟な対応も検討されている。②DXの成果を体感できる施策を講じている。③浸水対策等、安心安全な災害対策を進められている。④未来への投資により積極的な予算である。以上の理由で賛成する。

議案第6号
「令和3年度府中市介護保険特別会計予算」

反対討論
市民クラブ　水田　豊
※議案27号の反対討論と同じ。

賛成討論
創生会　森川　稔
75歳以上の高齢者や認知症高齢者などのサービス利用者の増加や、事業者に支払われる介護報酬がアップし保険給付額がふえていく。基金からの繰り入れや、フレイル予防対策によって介護報酬を抑制する対策も考えられていることなどから賛成する。

反対討論
日本共産党　楢﨑　征途
議案27号とも関連するが、値上げベースでつくられている予算に市民を守る意味から反対する。基金を取り崩して努力しているのはわかるが、他の市町と差がある。今一度知恵を出して、駅周辺の開発予算を少し見直せば、据え置きにするぐらいのお金は出ると思う。

賛成討論
公明党　大本千香子
※議案27号の賛成討論と同じ。

議案第32号
「令和2年度府中市一般会計補正予算（第13号）について」

反対討論
市民クラブ　水田　豊
府中市病院機構へ湯が丘病院事業会計から3億5000万円を貸し出す議案である。病院事業には、一般会計から4億7000万円もの繰り入れをしている上にこの巨額の貸付をすることには、府中市の会計規模からいって問題がある。ルールも決めず貸し出すことにも財政規律の緩みにつながり反対する。

賛成討論
創生会　広瀬　和彦
この件は、コロナ禍の収益減による補填の貸付となる。地方独立行政法人は設立団体である府中市以外からの長期借入ができない。また、基金残高を確保するためでもある。常勤医師着任など、医師の確保による経営状況の回復材料により返済の見通しがつくものと思われる。以上により賛成する。

賛成討論
公明党　大本千香子
①湯が丘病院の内部留保資金の安心安全でかつ積極的な運用は、以前から指摘されていた。②市民病院の医師確保への明るい見通しがあり、返済も十分確保できる状況である。③利率等、湯が丘病院にも市民病院にも両方にプラスになる資金運用である。以上の理由で賛成する。

議案第38号
「令和2年度府中市病院事業会計補正予算（第3号）について」

反対討論
市民クラブ　水田　豊
※議案32号の反対討論と同じ。

賛成討論
創生会　田邉　稔
府中市の自主財源が苦しくなる中で、現預金の他会計貸付は湯が丘病院が努力して貯めた資産を有効に活用することにつながる。このことは、財務の効率化につながるだけでなく、借りる側の病院機構に対する議会のチェック機能が働き緊張感をもって活用する意識が生まれる。よって賛成する。

賛成討論
公明党　大本千香子
※議案32号の賛成討論と同じ。

令和2年度 所管事務調査報告 概要

総務文教委員会

(1)小学校・中学校の英語教育の充実について
英検の受験推進

(2)防災・減災対策について
住民の防災・減災に対する意識向上の推進

(3)行財政改革について
ファシリティマネジメント（注1）とRPA（注2）の推進

厚生委員会

(1)地域医療の確保について
専門性のある医師の招へい

(2)在宅医療について
オンライン診療の導入

(3)子育て支援について
ネウボラ事業「子育てステーション」の機能発揮

(4)地域共生社会について
誰一人取り残さない「地域共生社会」の実現

建設委員会

(1)グランドデザインについて
進捗管理と見直しを行いながら遂行

(2)産業振興について
産業連係室のさらなる強化

(3)インフラ整備について
南北道のA工区、B工区の優先的開通

注1）人口減少の中で、公共施設の安定的管理と適正配置を目指す手法　注2）Robotic Process Automationの略で、業務効率化や生産性向上を実現するためのテクノロジー

3月議会での各議員の議決結果

（賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください）

議案名		稟田 澄子	芝内 則明	福田 勉	森川 稔	広瀬 和彦	安友 正章	岡田 隆行	楢﨑 征途	土井 基司	水田 豊	加納 孝彦	山口 康治	本谷 宏行	三藤 毅	加島 広宣	大本千香子	田邉 稔	橘髙 尚裕	加藤 吉秀	丸山 茂美
動　議	令和３年度一般会計予算について（予算組み替え動議） （天満屋2階の2期工事予算を新型コロナウイルス対策費や子育て支援に組み替える）	−	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
予　算	令和３年度一般会計予算について	−	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条　例	府中市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について	−	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条　例	府中市介護保険条例の一部改正について	−	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予　算	令和３年度府中市介護保険特別会計予算について	−	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予　算	令和２年度府中市一般会計補正予算（第１３号）について	−	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予　算	令和２年度府中市病院事業会計補正予算（第３号）について	−	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出について	×	○	×	棄	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×

（意見書については、可否同数のため、議長の裁決で決定しました）

編集後記

今年もコロナ禍でのゴールデンウィークとなりそうで、３密を考えると遠出の観光はしづらくなります。そういった中で、近場の気づかない地域の宝を見直してはどうでしょうか。華々しさはないかもしれないけれど、そこを訪れると地域を何とか元気にしようという住民の息吹が見えてきます。例えば、出口町の三室山公園では再生に向けた森づくり、荒谷町の「鬼が橋」では水辺の公園づくり等、府中市の各地で住民が主体となって地域おこしを始めています。こうした地域の魅力を求めて旅を行けば、新たな府中市の「観光振興」につながるだけでなく、受け入れる地域の側もコミュニティの絆を強める「地域振興」となり、住民の自発的な活動が「健康振興」にもなります。３密を避けて地域の三つの「振興」を発見するゴールデンウィークを楽しんでみませんか。

（田辺）

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしています。
TEL(0847)43−7171
FAX(0847)45−3212

荒谷町「鬼が橋」の奇岩

荒谷町「鬼が橋」水辺の水車

三室山公園から見た府中市街地

議会の動き（１～３月）

１月７日　広報広聴特別委員会（編集作業等）
１月13日　広報広聴特別委員会（編集作業等）
１月14日　厚生委員会（所管事務調査）
１月20日　総務文教委員会（所管事務調査）
１月25日　議会運営委員会（臨時会・定例会の運営）
１月25日　総務文教委員会（所管事務調査）
１月25日　厚生委員会（所管事務調査）
１月25日　建設委員会（所管事務調査）
１月27日　広報広聴特別委員会（議会報告会まとめ）
２月１日　２月臨時会
２月９日　総務文教委員会（所管事務調査）
２月９日　広報広聴特別委員会（議会報告会まとめ）
２月12日　全員協議会
２月12日　賑わいづくり特別委員会（所管事務調査）
２月12日　総務文教委員会（所管事務調査）
２月22日　議会運営委員会（定例会の運営）
３月１日～３月18日　３月定例会
３月11日　総務文教委員会、分科会（議案の審査）
３月12日　厚生委員会、分科会（議案の審査）
３月15日　建設委員会、分科会（議案の審査）
３月18日　議会運営委員会（定例会の運営）
３月22日　広報広聴特別委員会（編集作業等）
３月23日　賑わいづくり特別委員会（所管事務調査）
３月30日　広報広聴特別委員会（編集作業等）